

令和 6 年度

第 2 3 回大分県教育委員会 議事録

日 時 令和 7 年 3 月 4 日 (火)
開会 1 3 時 3 5 分 閉会 1 3 時 5 0 分

場 所 教育委員会室

令和 6 年度
第 2 3 回大分県教育委員会

【議 事】

(1) 報 告

- ① 新北市教育局（台湾）との教育交流における覚書締結について
- ② 令和 7 年第 1 回定例県議会追加議案に対する教育委員会の意見について

【内 容】

1 出席者

教育長	山 田 雅 文
委 員（教育長職務代理者）	高 橋 幹 雄
委 員	鈴 木 恵 代
委 員	岩 武 茂 代
委 員	岡 田 豊 弘
委 員	藤 田 敦
事務局	
教育次長兼福利課長	大 和 孝 司
教育次長	山 田 誠 司
教育次長	武 野 太 誠
参事監兼文化課長	三 重 野 誠
教育改革・企画課長	鈴 木 耕 平
教育人事課長	吉 雄 幸 平
教育財務課	深 藏 亮 一
高校教育課長	小 野 和 正
教育改革・企画課 総務企画監	角 湊 達 彦
教育改革・企画課 課長補佐（総括）	新 貝 隆
教育改革・企画課 主査	久 知 良 周 平

2 傍聴人

1 名

開会・点呼

(山田教育長)

委員の出席確認をいたします。
本日は、全委員が出席です。

(山田教育長)

ただ今から令和6年度第23回教育委員会会議を開催します。

署名委員指名

(山田教育長)

議事録の署名については、鈴木委員にお願いします。

会期の決定

(山田教育長)

本日の教育委員会会議はお手元の次第のとおりです。
会議の終了は13時45分を予定していますので、よろしくお願いします。

議 事

【報 告】

① 新北市教育局（台湾）との教育交流における覚書締結について

（5課〔教育改革・企画課、教育人事課、教育財務課、高校教育課、文化課〕入室）

(山田教育長)

それでは、報告第1号「新北市教育局（台湾）との教育交流における覚書締結について」高校教育課長から説明をしてください。

(小野高校教育課長)

資料1ページ、2月21日（金）に、台湾の新北市の庁舎において新北市政府教育局と教育における交流覚書の締結を取り交わした件について、報告します。

本覚書は、双方の友好関係を発展させ、緊密な教育交流を推進し、ともに未来を切り拓く人材を育成することを目的としています。

この締結の経緯については、昨年8月、大分県台湾プロモーションにおいて、大分県議会日台友好議員連盟の志村県会議員の協力により、元中華民国教育副

大臣であるハン・センロク監察委員と張明文（チャン・ミンウォン）新北市政府教育局長を交えて、双方の国際交流の可能性について協議したことが契機となりました。

この締結式において、張（チャン）教育局長は、「この締結で新たな教育の機会が得られ、日本との友好関係を深めるとともに、台湾と日本の教育の発展に新たな活力を注入し、双方に利益のある新しい時代を創造します。」と挨拶し、先方の意欲の高さを感じました。

この締結を機に、本県のグローバル人材の育成をさらに促進したいと思います。

（山田教育長）

ご質問・ご意見はありませんか。

（高橋委員）

様々なところから話を聞いていますが、とても良いことだと思います。JX グループの会社が台北にあり、私も何度か行ったことがあります。

台湾は英語教育も盛んに取組まれているとのことですので、日本の文化が根づいた都市や国と交流を結んで、日本の中高生と交流を深めて、さらなる発展をしてほしいと思います。

大分に、台湾から週に2回直行便が来るようになる見通しですので、私たちもぜひ行ってみたいと思います。

（小野高校教育課長）

普通科のみならず、専門高校もたくさんありますので、幅広く交流促進していきたいと考えています。

（高橋委員）

TSMC（台湾セミコンダクター・マニュファクチャリング・カンパニー）の関係で、キャノンのグローバル戦略の方が講演された際、ICT を使った事業を盛んにやっていくようになるだろうと話していました。

収益はあるものの、電力のエネルギー試算によると、TSMC のような会社ができたら、電力会社が1つ必要になるほどの電力を使用するそうです。そのため、今後、TSMC の進出先によって、また経済圏が変わるのではないかと話していました。令和5年度から大分工業の電子科が1クラス増えたので、そのような方向性も調べてはどうでしょうか。

（岩武委員）

由布高校が神楽で訪問したことがあったと思います。そのように、勉強の交流だけではなく、文化・スポーツなど、多様な形で交流し、子どもたちの成長につながるとよいと思いますので、様々な交流をしていただければありがたいです。

(小野高校教育課長)

由布高校は、平成29年に台湾の小港高級中学校と、神楽をメインに様々な交流をし、姉妹校提携を結んでいます。このような文化も含めて、幅広く交流していきたいと思います。

(山田教育長)

私からも、報告と補足をします。

この新北市は人口400万人で、大分県の4倍なのですが、高校の数はほぼ同じくらいです。それぞれの学校の規模がとても大きく、我々が訪問した高校も、1学年20クラス、全体で60クラスほどあるマンモス校です。

このため、大分県と台湾が抱える課題は少し違いますが、生徒はとても生き生きとしていました。星空から星座をイメージして、デザインするという授業を英語で行っていたのですが、生徒たちが一生懸命取り組み、英語で議論している姿は印象的でした。

中学校のクリエイティブクラブでは、無線で走っていくロボットがあり、そのプログラミングを中学生が行っていました。その指導については、外部の有識者を招いて、顧問をしていただいているということでした。受験勉強ではなく、創造性を養う教育に力を入れているそうです。

台湾の街中はあちこちで工事をしており、日本の高度成長期が今来ているような様子で、とても活気に満ちていました。そのような地域と交流することで、学ぶことがあると思います。

先方は親日的で、大歓迎をしてくれました。50年間も日本に占領されていたにもかかわらず、そういったことを全く出さず、日本は大歓迎で、まだ日本から様々なことを学びたいと言っています。

そのため、こちらもしっかりと体制を組み、幻滅させないようにしなければならぬと思っています。来年度、大分舞鶴高校や大分商業高校が修学旅行先として予定を組んでいますが、再来年度以降、そのような体制にも積極的に取り組んでいきたいと思っています。

(高橋委員)

実は、「千と千尋の神隠し」の舞台になった九份という所のすぐ近くに鉱山の資料館があり、病院の跡なども残っています。いかに台湾と日本・大分との間に歴史的繋がりがあったかがわかりますので、そういったところも見せてほしいと思います。

(藤田委員)

台湾以外に交流協定を結んでいるところはあるですか。

(小野高校教育課長)

学校では、6校が姉妹校提携を結んでいます。例えば、国東高校はイギリスの

高校と宇宙港の関係で一昨年に締結しました。別府翔青高校はニュージーランドの学校と、大分舞鶴高校はタイとニュージーランドの学校と締結しています。大分商業高校と情報科学高校は韓国の学校と締結しています。

(藤田委員)

一昨年、大分大学附属中学校で、フィリピン、マレーシア、シンガポールの現地の子どもたちとオンラインで交流することがあり、その時に、このような学び方があるのかと思いました。

多様性は今、とても重視されていますが、フィリピンなどは、多民族、多言語、多宗教など、混在しています。そのような中で、「いざごは起きないのか」という質問に対して、あちらの先生が、「小人数同士でいざごを起こしていたら、とてもではないが生きていけない」と答えました。

協力することがいかに大事かということを授業や教科ではなく、現地の人たちの生活の中で交流することによって、そのような習慣・文化が分かってくると思います。附属中学校の子どもたちにとって、とてもいい経験だったと思います。

ぜひ、日常的な生活の交流なども実現してほしいです。

② 令和7年第1回定例県議会追加議案に対する教育委員会の意見について

(5課〔教育改革・企画課、教育人事課、教育財務課、高校教育課、文化課〕入室)

(山田教育長)

次に、報告第2号「令和7年第1回定例県議会追加議案に対する教育委員会の意見について」教育改革・企画課長から説明をしてください。

(鈴木教育改革・企画課長)

令和7年第1回定例県議会に追加上程された議案のうち、教育委員会関係分として、中ほどの議案名にある「令和6年度大分県一般会計補正予算（第6号）」について、知事から教育委員会の意見を求められました。

本来なら知事への回答にあたり、教育委員会で議決していただくところですが、日程の都合上、協議できなかったため、「大分県教育委員会の権限に属する事務の一部を教育長に委任し又は臨時に代理させる規則」第3条第1項に基づき教育長が臨時代理として処分しました。

5ページのとおり異議のない旨回答したため、同条第2項に基づき、本委員会に報告します。

議案の内容等について、担当課長から説明しますので、よろしくお願いします。

(深藏教育財務課長)

第42号議案、「令和6年度大分県一般会計補正予算（第6号）」について、説明します。

資料の6ページをご覧ください。

表の下から3段目、2重線で囲んでいる補正予算案総額は、18億8,892万8千円の減額です。内訳は、その下のとおり、事業費が9億8,486万5千円の減、人件費が9億406万3千円の減となっています。

事業費については、入札残など各事業の実績に伴う所要の減額を行うものです。また、人件費の減については、共済費の基礎年金拠出率変更に伴う減などによるものです。

この結果、補正後の予算総額は、その右の欄にあるように、1,172億288万4千円となります。

次に、繰越明許費について、説明します。資料の7ページをお願いします。

追加として、6事業の繰り越しをお願いしていますが、このうち主なものについて説明します。

教育費の上から2番目「支援学校施設整備事業費」10億4,622万2千円は、第三次特別支援計画に基づく南石垣支援学校の移転にかかる改修工事の進捗を踏まえ、適正工期を設定するものです。

その2つ下、「文化財災害復旧支援事業費」1,344万5千円は、昨年8月の台風10号で被害を受けた両子寺の災害復旧工事について、業者決定に時間を要し、年度内の完了が困難となったもの等によるものです。

一番下、「大友氏遺跡土地公有化支援事業費」3,057万1千円は、大分市が行う史跡地の土地公有化事業において、建物等調査に遅れが生じ、年度内の完了が困難となったもの等によるものです。

続いて、8ページをご覧ください。9月に承認された分からの変更について、1事業あります。

一番上「盲ろう学校施設整備事業費」補正額1,170万円は、体育館空調の整備において、設計段階で仕様を見直したことによるものです。

最後に、債務負担行為補正について、説明します。9ページをご覧ください。一番下の17番「実習船代船建造事業」について、今年度の契約実績により事業費が減額となったため、限度額を変更するものです。

以上です。

(山田教育長)

ご質問・ご意見はありませんか。

(質問・意見なし)

(山田教育長)

最後にその他、何かありますか。

それでは、これで令和6年度第23回教育委員会会議を閉会します。ありがとうございました。